

会 議 録

会議名	平成24年度第4回文化財保護審議会	
事務局	生涯学習課	
開催日時	平成25年2月13日（水） 午前10時から11時40分	
開催場所	文化財センター学習室	
出席者	委員	(出席) 田中・福嶋・松平・孤島各委員 (欠席) 二宮委員
	事務局	天野課長・伊藤
傍聴の可否	◎可・不可・一部可	
	傍聴者：なし	
不可の理由		
(要点筆記)		
会 議 次 第		
会議内容		
議 事		
<ol style="list-style-type: none"> 1 史跡玉川上水整備活用事業（モデル区間）について 2 玉川上水・小金井桜整備活用計画—人道橋の架設—について 3 説明板「陣屋道」の設置について 4 その他 		
史跡玉川上水整備活用事業（モデル区間）の視察		
議 題		
[配布資料]		
資料1 モデル区間におけるヤマザクラの植栽状況		
資料2 玉川上水・小金井桜整備活用計画—人道橋の架設—について		
資料3 説明板「陣屋道」		
次回の会議日程		
平成25年 月 日（ ）		

会 議 結 果

(要点筆記)

1 会 議

(田中会長) 定刻になったので、平成 24 年度第 4 回文化財保護審議会を開催する。

1) 史跡玉川上水整備活用事業(モデル区間)について(資料1)

(事務局:伊藤) 都水道局の「史跡玉川上水整備活用計画」に基づくモデル事業について報告する。新小金井橋から関野橋に至る 640m のモデル区間について、22 年度からヤマザクラを被圧する樹木を伐採して、フェンスの内側にヤマザクラの苗木を植え、桜並木の復活をはかる事業を実施している。24 年度は約 100 本の雑木を伐採し、29 本のヤマザクラの苗木を植栽する予定。モデル事業全体では、300 本を超える雑木を伐採し、95 本のヤマザクラを補植することになる。既存のヤマザクラ(129 本)と合わせて 224 本のサクラ並木となる。モデル事業は、今年度で終了するが、25 年度以降の事業については、名勝の管理団体である都教育庁が主体で保護活動を行うことになっている。これに対して、市民団体からモデル事業の継続を要望する陳情が市議会に出されている。

(田中会長) 報告について、意見はあるか。

(福嶋委員) モデル事業が行われたことはいいことだと思う。今後、雑木の管理をしっかりやるのが前提。また、一昨年指摘した「トウネズミモチ」が気になる。

(松平委員) 市民団体と行政が協働するやり方は、いい方向性だと思う。

2) 玉川上水・小金井桜整備活用計画—人道橋の架設—について(資料2)

(事務局:伊藤) 玉川上水の人道橋架設について、現在「玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」で計画の目的、人道橋の必要性、架橋位置と幅員、橋のコンセプト、構造、デザイン等検討している。

(田中会長) このことについて、意見はあるか。

(委 員) 特に質問・意見はなし。

3) 説明板「陣屋道」の架設について(資料3)

(田中会長) 事務局から説明を願いたい。

(事務局:伊藤) 前回の審議会でもいただいた意見をもとに、文案を整理したので読み上げる。

(田中会長) 意見はあるか。

(福嶋委員) 陣屋道の説明だから、陣屋や川崎平衛門の説明は不要ではないか

- (孤島委員) 川崎平衛門の説明は、あってもいいのではないか。
(福島委員) 必要ならそのままでもよい。
(田中会長) 他に意見がなければ資料3の案文で、決定することにしたい。

次回の開催日程について

平成25年5月8日(水) 10:00から

2 史跡玉川上水整備活用事業(モデル区間)の視察

文化財センターから車で移動、現地視察、意見をもらう。

(田中委員) 22年度に視察した時に比べると、ずいぶん明るく、すっきりした感じに変わった。

(福島委員) 外来種である「トウネズミモチ」が、常緑樹という理由で残されていることは大きな問題である。生物多様性にも反する。トウネズミモチは陽樹で、今まで被圧していた雑木が切られたので、今後、繁茂が著しくなる。サクラ並木の景観が悪くなる。また、コンクリート護岸に自生したトウネズミモチは、既に護岸を破壊し始めており、全部伐採しなければいけない。